

# 執筆者一覧

監修 高尾一彦 鈴木正幸

小路田 泰直	第1章 I
奥村 弘	第1章 II 第2章第6節
原田 敬一	第2章第1節～第4節 第2章第5節 1, 2, 3, 4
布川 弘	第2章第5節 5 第3章第3節
鈴木正幸	第3章第1節 第3章第4節～第6節 第4章第3節 2 の一部
尾崎 耕司	第3章第2節 第4章第2節 第4章第4節 2
山下直登	第4章第1節 第4章第3節 1, 第4章第3節 2 の一部 第4章第5節
河島 真	第4章第4節 1
福永 文夫	第5章
高寄 昇三	第6章

〔編集協力者〕

藍那自治会 朝日新聞社 アーサー・トムセン 淡吉歌子 池田淳司 生駒征  
井上好太郎 井上善右衛門 魚崎財産区議会 大阪市史編纂所 大阪市立博物館  
大阪府立中之島図書館 大西清尊 奥平野財産区管理会 小倉澄子 賀川豊彦記  
念松沢資料館 鹿島素麿 上唐櫃林産農業協同組合 桑田勝彦 神戸市会図書室  
神戸商工会議所 神戸女学院 神戸市立中央図書館 神戸市立博物館 神戸新聞  
社 神戸大学人文社会系図書館 国立公文書館 国立国会図書館 四鬼啓二 下  
田勉 武井報効会 東京市政調査会 中山純 西井秀爾郎 日本青年館 兵庫県  
史編集室 兵庫県都市住宅部 兵庫県立図書館 兵庫中学校 不破長盛 毎日新  
聞社 前田一郎 楨村博介 丸尾藤四郎 湊川多聞小学校 森川静子 山本宏  
横浜開港資料館

〔図版作成〕

森図房 河北印刷㈱

写真・図（付図）・表（付表）一覧

口絵写真

- 1 摂州神戸海岸繁栄之図〈神戸市立博物館蔵〉
- 2 居留地風景〈横浜開港資料館蔵〉
- 3 相生町風景〈神戸市立博物館蔵〉
- 4 築港工事
- 5 昭和前期の農村風景〈桑田勝彦蔵〉
- 6 国鉄の高架化
- 7 戦災の市街地〈毎日新聞社提供〉
- 8 戦後の高架下〈中山岩太撮影〉
- 9 回復してきた市民生活
- 10 明日をめざす神戸

写 真

〔第1章〕

扉写真 摂州神戸海岸繁栄図〈神戸市立博物館蔵〉

I

- 写真 1 神戸事件発生地の碑がある三宮神社…………… 3
- 写真 2 明治5年居留地図〈神戸市立博物館蔵〉……………21
- 写真 3 居留地の景観〈神戸女学院蔵〉……………23
- 写真 4 有馬温泉湯元之図（『有馬武庫

菟原豪商名所独案内の魁』）……………30

- 写真 5 六甲開祖之碑〈四鬼啓二蔵〉…31
- 写真 6 月下亭（『豪商神兵湊の魁』）…33
- 写真 7 『七一雑報』……………37
- 写真 8 能福寺大仏〈アーサー・トムセン蔵〉……………40
- 写真 9 湊川神社〈神戸市立博物館蔵〉……………42
- 写真10 『神戸商議社雑誌』〈神戸市立中央図書館蔵〉……………59
- 写真11 市制当初の市役所……………80
- 写真12 神戸倶楽部の祝賀会（『神戸倶楽部沿革誌』）…………… 100
- 写真13 大津事件で天皇の来神を伝える地元紙（『神戸又新日報』明治24年5月20日）…………… 104

II

- 写真14 明治3年藍那村宗門人別五人組帳記載例〈藍那自治会蔵〉…………… 123
- 写真15 明治2年魚崎村宗門人別改五人組帳（表紙）〈魚崎財産区蔵〉…………… 125
- 写真16 明治3年藍那村宗門人別五人組帳（表紙）〈藍那自治会蔵〉…………… 125
- 写真17 「副戸長人選札入」（西

尻池村)〈武井報效会蔵〉……	139
写真18 「入札規則」(第3区) 〈武井報效会蔵〉……………	139
写真19 第3区会議所図面 〈武井報效会蔵〉……………	144
写真20 明治19年度八郡各 臨時聯合会成議録〈藍那 自治会蔵〉……………	237

〔第2章〕

扉写真 明治42年落成の市役所	
写真21 日清戦争凱旋祝賀の門 〈大阪市立博物館蔵〉……………	276
写真22 築港起工式(基石沈下) (『起工式記念写真帳』)……………	288
写真23 兵庫運河風景……………	295
写真24 湊川付替工事(会下山 トンネル)〈神戸市立博 物館蔵〉……………	298
写真25 居留地廃止の『神戸又 新日報』ポンチ絵「内地 雑居の眺」……………	337
写真26 銅像引回し事件(『神 戸又新日報』明治38年9 月9日)……………	356
写真27 小寺邸に押しかけた群 衆(『神戸又新日報』大 正2年2月15日)……………	398
写真28 明石郡町村自治体系 (『明石郡治内容一斑』)……………	425

〔第3章〕

扉写真 川崎・三菱大争議中の	
----------------	--

示威行進(丸尾藤四郎蔵)	
写真29 湊川公園付近を走る市電…	472
写真30 日本初といわれたスチ ールカーG車(『神戸市 交通局六十年史』)……………	474
写真31 『都市研究』第1巻第 1号〈神戸大学人文社会 系図書館蔵〉……………	499
写真32 湊川実業補習学校にも 使用された、湊川尋常高 等小学校〈湊川多聞小学 校蔵〉……………	520
写真33 大開尋常小学校の算術 の学習……………	527
写真34 『神戸市の青年』〈日本 青年館蔵〉……………	535
写真35 『衛生組役員名簿』……………	546
写真36 米騒動の光景〈淡吉歌 子蔵〉……………	553
写真37 西部公設食堂(『社会 救済事業写真帳』)……………	556
写真38 東部公設市場(『社会 救済事業写真帳』)……………	558
写真39 川崎造船所のサボター ジュ〈朝日新聞社提供〉……	562
写真40 川崎造船所前を示威行 進する労働者……………	568
写真41 倒産時、海岸通にあっ た鈴木商店本店……………	579
写真42 「大借金に悩む神戸」 (『神戸又新日報』昭和4 年12月6日)……………	606
写真43 「交通機関よりの収入	

は民衆に分つが当然」 〔『神戸又新日報』大正15 年2月14日〕…………… 610	写真53 立候補者の事務所風景 〔『神戸又新日報』昭和3 年2月7日〕…………… 670
写真44 特別市制実施運動〔『神 戸又新日報』大正9年7 月14日〕…………… 626	写真54 初の普選による市会議 員選挙ポスター〔『神戸 又新日報』昭和4年4年 23日〕…………… 682
写真45 「神戸市繁栄策」懸賞 当選論文〔『神戸又新日 報』昭和2年6月16日〕…… 636	〔第4章〕
写真46 最初の普通選挙による 県会議員選挙投票所〔『神 戸又新日報』昭和2年9 月26日〕…………… 645	扉写真 昭和13年の水害（三宮 駅付近）
写真47 尾崎行雄を招いた神戸 普選期成同盟会主催の演 説会〔『神戸又新日報』 大正8年2月17日〕…………… 648	写真55 銀行取付け騒ぎ〔『神 戸新聞』昭和2年4月22 日〕…………… 688
写真48 神戸普選連盟主催の普 選要求神戸市民大会〔『神 戸又新日報』大正11年2 月12日〕…………… 650	写真56 ガントリークレーンの 見える風景…………… 698
写真49 倒閣護憲大会〔『神戸 又新日報』大正13年2月 12日〕…………… 651	写真57 港のにぎわい…………… 705
写真50 酒井浩洋宣言書〔『神 戸又新日報』大正8年9 月27日〕…………… 653	写真58 出航風景〈山本宏蔵〉…… 718
写真51 最初の普選による衆議 院議員選挙〔『神戸又新 日報』昭和3年2月20日〕… 659	写真59 元五青年団〈森川静子蔵〉… 731
写真52 立憲興民会公認推薦広 告〔『神戸又新日報』大 正14年4月22日〕…………… 664	写真60 区役所の発足（左 湊 西，右 林田）〔『神戸又新 日報』昭和6年8月30日〕… 747
	写真61 神戸小売商組合連盟準 備会〔『神戸又新日報』 昭和6年3月29日〕…………… 763
	写真62 小売商組合連盟の大売 り出し〔『神戸又新日報』 昭和6年6月2日〕…………… 766
	写真63 百貨店の進出を伝える 『神戸新聞』の記事（昭和 7年3月1日）…………… 771
	写真64 社大党の躍進〔『神戸 新聞』昭和12年5月3日〕… 799

写真65 選挙粛正大講演会(『神戸新聞』昭和10年7月30日) ……………	803
写真66 選挙粛正棄権防止呼びかけ葉(『神戸新聞』昭和12年4月29日) ……………	817
写真67 大政翼賛下の市会議員選挙投票所(『神戸新聞』昭和17年6月21日) ……………	832
写真68 排英運動を伝える地元紙(『神戸新聞』昭和15年8月11日) ……………	859
写真69 学童疎開……………	882
〔第5章〕	
写真扉 焼け跡(湊川付近)〈榎村博介蔵〉	
写真70 占領軍の神戸進駐〈神戸新聞社〉……………	897
写真71 神戸基地軍司令部(神戸ビル)……………	901
写真72 昭和20年代の市役所……………	909
写真73 アメリカ独立記念日祝宴で挨拶する中井市長〈西井秀爾郎蔵〉……………	911
写真74 市長選挙で婦人も初めて投票(湊川神社)〈朝日新聞社提供〉……………	915
写真75 神戸市警の誕生……………	921
写真76 戦争の傷あとと残る国民学校校舎を利用した新制の兵庫中学校〈兵庫中学校校蔵〉……………	925

写真77 食糧対策人民大会(昭和20年12月)〈神戸新聞社提供〉……………	931
写真78 戦後初のメーデー(湊川公園)〈神戸新聞社提供〉…	932
写真79 兵庫軍政部がおかれた県会議事堂……………	937
写真80 初の知事・市長選〈神戸新聞社提供〉……………	940
写真81 第1回国際港湾会議(昭和27年、神戸商工会議所主催)……………	958
写真82 神戸博覧会(王子会場) …	975
写真83 神戸市の管理になった昭和26年の神戸港……………	989
写真84 市域拡張記念花電車……………	1006
写真85 市会の風景……………	1009
写真86 長尾村解村式……………	1013
〔第6章〕	
扉写真 神戸・ポートアイランド	
写真87 六甲アイランドのコンテナベース……………	1029
写真88 須磨沖で水質調査中の監視船……………	1037
写真89 養浜工事後の須磨海岸……………	1040
写真90 神戸市物価安定市民会議……………	1042
写真91 西神ニュータウン……………	1049
写真92 1985年ユニバーシアード神戸大会……………	1053
写真93 現在の市役所……………	1056

図

〔第1章〕

I

- 図1 明治10年(下)と24年(上)の市街地比較……………25
- 図2 マーシャルの神戸築港計画図(『神戸税関新設備報告』付図)……………49
- 図3 丸越組直輸出構想図(原図「前田正文書」)……………61

II

- 図4 明治3年兵庫県 of 村入用帳簿形(「兵庫県史料」) …… 120
- 図5 明治4年兵庫県戸籍記載様式(『伊丹市史』) …… 126
- 図6 明治5年の区制…………… 138
- 図7 兵庫県庁建継伺書付図(原図「公文録」) …… 174
- 図8 兵庫県の府県範囲の費用負担(『兵庫県百年史』) …… 215
- 図9 明治16年の連合戸長役場区域…………… 226
- 図10 明治22年の新市町村の成立… 245

〔第2章〕

- 図11 明治35年明石郡郡費歳出額費目割合…………… 421
- 図12 明石郡郡費歳出総額および土木費の変化…………… 422
- 図13 明石郡町村自治体系概略図(『明石郡治内容一斑』) …… 426

- 図14 明石郡町村支出総額中教育費の割合…………… 442

〔第3章〕

- 図15 市内国鉄各駅1日平均乗降客数の推移…………… 448
- 図16 市電1日平均乗客数の推移… 449
- 図17 市内の電車事故死傷者数の推移…………… 449
- 図18 『神戸又新日報』の神戸市縦貫大道路予想断面図… 460
- 図19 市電1期・2期路線図(『神戸市交通局六十年史』)… 473
- 図20 市電3期特許路線図(『神戸市交通局六十年史』) …… 475
- 図21 国鉄の地下線化案…………… 478
- 図22 国鉄の高架線化関係略図… 481
- 図23 大正12年頃の私鉄起終点駅… 482
- 図24 築港概要(昭和5年頃) …… 489
- 図25 区別人口の推移…………… 505
- 図26 市電1日平均乗客数・収入の推移…………… 594
- 図27 青年政党樹立促進宣言(『神戸又新日報』大正10年8月23日) …… 654
- 図28 神戸愛国青年党結成大会決議(『神戸又新日報』大正15年2月12日) …… 657

〔第4章〕

- 図29 男子人口に占める未婚者・有配偶者の年齢別推移(昭和5年)…………… 728

図30 町会自治運営一覧表…………… 829

〔第5章〕

図31 連合国軍進駐状況・終戦連絡事務局並びに委員会所在地（1945年10月15日現在）（竹前栄治『GHQ』より）…………… 899

図32 主要な占領軍配置図（1946年5月14日現在『神戸基地視察日程』より）…………… 903

図33 昭和22年4月の衆議院選挙区兵庫第1区…………… 942

図34 戦後の市域の拡大……………1002

〔第6章〕

図35 鶴甲山ベルトコンベヤー……………1023

図36 埋立地および関連住宅団地の造成……………1025

図37 硫酸酸化濃度（二酸化鉛法）の推移……………1036

図38 市の中央部・周辺部の人口増減……………1046

図39 市内主要産業別製造品出荷額等の推移……………1051

付 図

付図 1 兵庫県無産政党系統変遷図（『兵庫県労働運動史』）……………24

付図 2 神戸市主要プロジェクト位置図……………26

表

〔第1章〕

I

表 1 廃藩置県後の県統合…………… 9

表 2 居留地地所の競売購入者国籍別分類……………23

表 3 県より郡区長への委任事項（明治20年7月）……………45

表 4 交詢社発足当初の神戸における社員……………55

表 5 「神戸将来の事業」構想 ……68

表 6 市政の概要……………71

表 7 神戸市勢（明治25年）……………78

表 8 最初の市会議員選挙（明治22年4月）……………79

表 9 市政費支出表……………84

表10 市域内外における伝染病発生件数……………86

II

表11 明治2年2月兵庫県の郡村に関する規則…………… 111

表12 菟原・八部郡の兵庫県管轄下の組合村…………… 112

表13 明石藩の大庄屋組（神戸市域に関係するもの）…………… 114

表14 明治初年の尼崎藩領郡家組の諸村…………… 114

表15 明治2年の凶荒に対する寄付…………… 119

表16 明石藩押部組内困窮村に対する藩の救済額…………… 122



写真・図(付図)・表(附表)一覧

表17	明治2年兵庫県の宗門人別改五人組帳前書の内容……	122	表32	市域に関連する郡の役所位置・管轄町村数・人口数(明治12年) ……	178
表18	明治3年宗門人別改五人組帳の前書で新たに付加された事項 ……	124	表33	明治12年菟原全都連合町村会予算案 ……	180
表19	壬申戸籍作成に関する第11区内氏神および氏子調査(明治5年3月) ……	132	表34	明治12年における戸長の職務 ……	181
表20	19区制における区長・戸長・副戸長・什長の職制(兵庫県) ……	138	表35	明治13年前半期魚崎村戸長役場費明細表 ……	182
表21	明治6, 7年兵庫県第3区の民費支出 ……	141	表36	明治13年度横屋村戸長役場役員月給額 ……	182
表22	明治10年前半期第3区区入費の割当方法 ……	142	表37	町村会の議員・選挙権者・被選挙権者数 ……	183
表23	兵庫県第3区成立時の役員 ……	143	表38	明治12年度奥平野村協議費予算 ……	185
表24	区長・副区長・書役および戸長の職制(飾磨郡) ……	159	表39	明治13年前半期魚崎村協議費支出決算 ……	186
表25	明治9年後半期細田村民費備金 ……	160	表40	奥平野村戸数割等級 ……	187
表26	明治9年前半期魚崎村の村費 ……	166	表41	明治17年度兵庫県第一番学区連合村費戸数割等級表 ……	187
表27	市域摂津部分での明治20年までの村合併 ……	167	表42	藍那村における村会合(明治17年10月~12月) ……	189
表28	市域(明石郡美養郡部分)での明治20年までの村合併 ……	168	表43	明治13年市域関係連合戸長役場区域 ……	191
表29	摂津の地租改正における基準米価(1石) ……	170	表44	明治13年改正による市域関係各郡戸長給与・吏員数 ……	192
表30	市域に関係する各郡の干害による皆無分別の状況 ……	172	表45	明治14年改正において連合町村戸長役場制をとった町村 ……	195
表31	摂津・播磨の耕地宅地地租改正による地租額の変動 ……	175	表46	八部郡第七戸長役場区域各村戸数 ……	197

表47	八部郡第四戸長役場区域 各村戸数……………	197	表64	戸長役場区域の人口戸数 (区部を除く)……………	228
表48	藍那村協議費支出……………	199	表65	戸長数の変化……………	228
表49	町村協議費中の教育費お よびその比率……………	200	表66	町村費の費目……………	229
表50	兵庫県内旧摂津地域にお ける就学率の変遷……………	201	表67	明治17年の町村会規則に よる村会議員数……………	230
表51	明治12年後半期兵庫県コ レラ発生数……………	202	表68	町村会の活動状況……………	231
表52	兵庫県コレラ発病者数・ 死亡者数……………	203	表69	明治17年改正以降の村費 の運用……………	233
表53	市域を管轄とする警察区 (明治12年)……………	204	表70	八部郡町村費支出の変化……………	234
表54	市域(神戸区を除く)を管 轄する郵便局(明治14年)……………	205	表71	郡役所吏員数の変化……………	236
表55	市域関係各郡における県 会議員選挙権者および被 選挙権者……………	207	表72	明治24年町村公民数およ び人口当たり比率……………	241
表56	明治12年度県会議員選挙 権者の人口当たり比率……………	207	表73	市域行政町村の人口・戸 数・町村長名……………	246
表57	市域関係郡部選出県議 員中の改進黨入党者(明 治10年代)……………	208	表74	明治22年第1回大沢村村 会議員選挙結果……………	248
表58	明治14年関西府県会議員 懇親会兵庫県参加者……………	210	表75	町村制における町村会が 議決すべき事項……………	250
表59	市域関係郡部の交詢社員……………	211	表76	明治23年町村長・助役中 名誉職・有給区分……………	255
表60	明治前期の米価の推移……………	214	表77	明治23年度大沢村役場吏 員年間報酬給与予算……………	256
表61	兵庫県における政談演説 会の取締り状況……………	221	表78	明治23年度郡別町村歳入 額合計……………	259
表62	『神戸新報』の年間発行 部数……………	221	表79	明治23年度大沢村戸別割 等級表……………	260
表63	明治16年大旱魃による米 作被害状況……………	222	表80	大沢村戸別割等級数の変 遷……………	260
			表81	明治23年度郡別町村歳出 額合計……………	261
			表82	上淡河村経常費に占める 教育費の比率……………	262

表83 明治24年度玉津村土木費 配当予算表……………	263	表99 神戸市の明治37年度予算…………	350
〔第2章〕		表100 明治37年の参事会員改選…………	352
表84 自由党総理板垣の発表し た候補者名〔明治27年3 月第3回衆議院選挙(兵 庫県)〕……………	270	表101 公民会幹事(職・所属別)…………	367
表85 明治27年2月県会議員選 挙党派別候補者(神戸市)…………	271	表102 第8回市会選挙(明治43 年)の主な結果……………	371
表86 明治29年度市費歳入(予算)…	303	表103 立憲国民党兵庫支部役 員……………	373
表87 明治34年度市費歳入(決算)…	304	表104 明治43年衆議院議員補欠 選挙……………	378
表88 明治34年度区費歳入(決算)…	305	表105 第6回県会選挙(神戸市)…………	381
表89 第3回市会選挙(明治28 年)……………	311	表106 市民会の常務幹事(職・ 所属別)……………	388
表90 神戸実業協会推薦の候補 者……………	314	表107 第11回総選挙(神戸市) (定員2人)……………	389
表91 第5回市会選挙の有権者 数(投票者)……………	316	表108 東京・京都・大阪市など の選出議員……………	390
表92 第5回市会選挙(明治34 年)……………	318	表109 第9回市会総選挙(大正 2年)(定員48人)……………	405
表93 第9回総選挙……………	321	表110 市域関係各郡の規模の比 較……………	413
表94 第6回市会選挙(明治37 年)……………	323	表111 第一議會郡分合法案中兵 庫県の部……………	413
表95 神戸実業組合連合会の衆 議院議員候補者指名委員・ 幹事……………	325	表112 市域関係各郡地価1万円 以上の地主……………	418
表96 第10回総選挙……………	328	表113 市域関係各郡大正元年郡 費歳出一覧……………	424
表97 労働人口の構成(明治35 年)……………	335	表114 明石郡戸主会設置状況 (明治41年7月現在)……………	429
表98 日露戦争と神戸港貿易 (明治37年の対前年同期 比増減分)……………	341	表115 明石郡内町村戸主会則 における実行事項……………	431
		表116 岩岡村自治内容奉告書の 項目(明治43年3月)……………	432
		表117 市域関係各郡における教	

育費の割合（大正元年）……	442	表135 神戸市実業補習学校生徒	数等の推移……………	518
表118 郡内各種団体に対する郡		表136 学区統一後の神戸区、林		
費補助……………	443	田区小学校施設比較……………		525
〔第3章〕				
表119 市区改正委員会の各部会…………	450	表137 尋常小学校本科正教員1	人当たりの月給平均額の	
表120 都市計画区域案に対する		推移……………		525
各市町村の答申……………	455	表138 尋常小学校教員数の推移…………		526
表121 都市計画の幹線道路（大		表139 湊川商工実修学校の教育		
正15年）……………	459	科目（大正15年）……………		528
表122 市電第2期線開通年表…………	473	表140 湊川商工実修学校教員の		
表123 市電の営業成績……………	475	職業別内訳（大正15年）……		529
表124 大正期の土地区画整理組		表141 湊川商工実修学校在学生		
合……………	476	の入学前の学歴（大正15年）…		529
表125 神戸港第一期修築工事		表142 湊川商工実修学校在学生		
（外国貿易設備）（明治39		の年齢別内訳（大正15年）…		529
年4月～大正11年5月）……	486	表143 湊川商工実修学校在学生		
表126 神戸港第二期修築工事		の職業別内訳（大正15年）……		529
（大正8年～昭和12年度、		表144 大正6年現在神戸市内青		
一部14年度まで）……………	486	年団の一覧……………		531
表127 神戸港修築工事総額…………	490	表145 神戸市連合青年団創立の		
表128 区別人口の推移……………	507	経緯……………		535
表129 市内における区別工場数、		表146 神戸市各単位青年団団長		
労働者数（昭和4年）…………	508	の職業構成……………		537
表130 神戸区所有財産（大正6		表147 県下各単位青年団団長の		
年2月）……………	510	職業構成……………		538
表131 区別学齢児童数の推移…………	513	表148 衛生組合に関する法制の		
表132 大正6年度各区予算 歳		変遷……………		542
入・歳出……………	513	表149 神戸市内の小売米価格		
表133 区別学級数、1学級当た		（1升）……………		552
り児童数……………	515	表150 神戸米騒動受刑者職業別		
表134 林田区児童1人当たりの		人数……………		554
経費・施設……………	516	表151 市財政事業別収入（決算）……		583

表152 市財政収入の構成(決算)……	585	表170 電気・水道両事業からの 繰入金……………	609
表153 市財政収入の構成(決算)……	586	表171 「特別経済」から市費(普 通経済)への繰入金……………	609
表154 市財政収入の構成百分比 の比較……………	586	表172 「特別経済」における公 債収入と公債費支出……………	609
表155 電気事業費歳入(決算)……	589	表173 市税滞納者と滞納金額……………	615
表156 電気事業建設費累計と使 用料収入の比較……………	589	表174 主要市税附加率……………	615
表157 電気事業費歳出(決算)……	591	表175 主要市税(都市計画特別 税を含む)収入の内訳……………	617
表158 電気事業経済における公 債収入と公債費支出……………	593	表176 雑種税・家屋税の市民1 人当たりの金額……………	617
表159 水道費・水道拡張費の歳 入……………	593	表177 兵庫県会の政党別議員数……………	647
表160 水道費・水道拡張費の歳 出……………	593	表178 市会議員選挙の議員配当 数と有権者数……………	673
表161 水道費・水道拡張費に占 める市費への繰入金・公 債費の割合……………	593	表179 市会の会派別議員数……………	675
表162 水道費中使用料収入から 経常経費(事務・維持・ 給水費)を差し引いた額……………	595	表180 大正6年市議選の党派別・ 等級別当選者……………	676
表163 都市計画事業費歳入・歳 出(決算)……………	597	表181 大正10年市議選の党派別・ 等級別当選者……………	678
表164 都市計画事業期別収支……………	599	[第4章]	
表165 市費(普通経済)歳出(決 算)……………	601	表182 昭和初期の神戸経済諸指 標……………	691
表166 市費(普通経済)歳出決 算百分比……………	603	表183 市内工場生産額累年比較 表(5人以上)……………	695
表167 市費(普通経済)歳入(決 算)……………	605	表184 神戸港の地域別輸出額推 移……………	709
表168 市費における公債収入と 公債費……………	607	表185 神戸市在留外国人……………	723
表169 市費経常費と公債費を除 いた臨時費の推移……………	607	表186 神戸市連合青年団歳入出 予算の推移……………	735
		表187 神戸市連合青年団主催青 年講座一覧(昭和2～4	

年) .....	736	表204 神戸市在住外国人調.....	961
表188 平野衛生組合収支決算の 推移.....	743	表205 昭和24年1月衆議院議員 総選挙結果.....	970
表189 神戸市労働争議の推移.....	793	表206 神戸市歳入歳出決算額.....	973
表190 争議一件当たりの状況.....	794	表207 昭和25年12月5日現在レ ッド・ページの進捗状況.....	980
表191 選挙粛正大協議会参加団 体.....	810	表208 兵庫県特需受注額推計.....	982
表192 大政翼賛会区支部理事の 職業別内訳(昭和16年3 月7日).....	824	表209 昭和26年4月市会議員選 挙結果.....	988
表193 大政翼賛会神戸支部役員 一覧.....	826	表210 昭和27年10月衆議院議員 総選挙結果.....	993
表194 昭和17年市会選挙推薦候 補者職種・業種別一覧.....	833	表211 昭和28年4月衆議院議員 総選挙結果.....	994
[第5章]		表212 昭和30年2月衆議院議員 総選挙結果.....	995
表195 接収土地建物契約状況 (昭和23年4月現在).....	904	表213 昭和30年4月市会議員選 挙結果.....	997
表196 神戸市における空襲被害 状況.....	907	表214 昭和21年~30年までの神 戸市内における国政選挙 での自民党・社会党得票 率.....	998
表197 昭和21年4月10日衆議院 議員総選挙結果.....	918	表215 昭和22年~30年までの地 方選挙における自民党・ 社会党得票率.....	999
表198 教育改革に関する諸命令 一覧.....	924	表216 北部・西部町村との合併 仮調印の日程.....	1004
表199 兵庫県労働組合結成状況.....	930	[第6章]	
表200 昭和22年4月神戸市長・ 兵庫県知事選挙結果.....	941	表217 戦前・戦後の大都市経済 力比較.....	1023
表201 昭和22年4月25日衆議院 議員総選挙結果.....	943	表218 埋立地および関連住宅団 地の造成.....	1025
表202 昭和22年4月市会議員選 挙結果.....	945	表219 総生産の年次推移(神戸	
表203 府県及び五大都市の面積 ・人口比較.....	948		

市と全国) ……………1026	表233 各区の概要……………1049
表220 株式上場企業本社数の都 市別推移……………1027	表234 ファッション産業のウエ イト(対全産業比) ……1051
表221 市内主要工場の従業員推 移……………1028	表235 姉妹・友好都市および港 の一覧……………1053
表222 神戸港主要経済指標と対 全国比の推移……………1029	表236 市内の外国人数(平成2 年3月末) ……1054
表223 衆議院議員の党派別推移 (兵庫1区=神戸市)……………1032	表237 神戸市の主要経済指標……………1055
表224 市議会政党派状況の推移……………1032	表238 11大都市経済指標状況……………1056
表225 宮崎市長政党支持関係の 推移……………1033	
表226 公害防止協定一覧……………1036	
表227 主な自然災害……………1039	
表228 市条例の事例……………1043	
表229 市の主な開発団地……………1044	
表230 神戸市道路公社有料道路……………1045	
表231 神戸市人口増加状況……………1047	
表232 既成市街地での工場集団 化・共同化の実績……………1048	
	<b>付 表</b>
	付表 1 市域における伝染病発 生件数……………30
	付表 2 市会議員選挙……………34
	付表 3 明治前期の領域、区・ 戸長役場の区画変遷……………36
	付表 4 明治前期の郡部選出兵 庫県議員……………44
	付表 5 神戸市の衆議院選挙……………48

## 参考文献目録

### 第1章

- 安藤礼次郎「明治10年代に展開した西播の自由民権運動」(『歴史と神戸』127号 神戸史学会 昭和59年)
- 石田頼房『日本近代都市計画史研究』柏書房 昭和62年
- 石塚裕道『日本近代都市論—東京: 1868—1923』東京大学出版会 平成3年
- 上野祐一郎「みこしかつぎ闘争と自由民権」(『部落問題論究』7号 兵庫部落問題研究所 1982年)
- 奥村 弘「兵庫県における改進黨系政治運動の展開過程」(『神戸の歴史』20号 神戸市 平成2年)
- 小路田泰直『日本近代都市研究序説』柏書房 平成3年
- 小路田泰直「日本近代における都市自治の形成」(『地域と自治体』第17集 自治体研究社 平成元年)
- 落合重信編『兵庫県八部郡地誌』(復刻版) 後藤書店 1977年
- 加藤一明「神戸の大区・小区制」(『神戸の歴史』10号 神戸市 昭和57年)
- 亀卦川 浩『明治地方制度成立史』柏書房 昭和42年
- 草山 巖「兵庫県下の民権運動と警察—集会条例をめぐって—」(『地域史研究』14巻1・2合併号 尼崎市立地域研究史料館 昭和59年)
- 鈴木 良『近代日本部落問題研究序説』兵庫部落問題研究所 昭和60年
- 同志社大学人文科学研究所『“七一雑報”の研究』同朋舎 昭和61年
- 中村尚美『大隈財政の研究』校倉書房 昭和43年
- 兵庫県『兵庫県会史』明治37年
- 兵庫県教育史編集委員会『兵庫県教育史』兵庫県教育委員会 昭和38年
- 兵庫県警察史編さん委員会『兵庫県警察史』明治・大正編 兵庫県警察本部 昭和47年
- 兵庫県史編集委員会『兵庫県百年史』兵庫県 昭和42年
- 兵庫県総務部地方課編『兵庫県町村合併史』兵庫県 昭和37年
- 兵庫県部落史研究委員会編『兵庫県同和教育関係史料集』第1巻 兵庫県立教育



研究所 昭和47年

- 藤田弘夫『都市と国家—都市社会学を越えて—』ミネルヴァ書房 平成2年  
 藤田弘夫『都市の論理』中央公論社 平成5年  
 布川 弘「山陽電鉄敷設の政治過程」(『神戸の歴史』12号 神戸市 昭和60年)  
 宮川秀一「飾磨県再置請願理由書」(『兵庫県の歴史』18号 兵庫県 昭和56年)  
 山中永之佑監修『近代日本地方自治立法資料集成』I〔明治前期編〕 弘文堂 平成3年  
 『府県地租改正紀要』

## 第2章 (第1章と重複するものは除く)

- 明石郡役所『明石郡治内容一斑』大正4年  
 明石郡役所『明石郡会史』大正12年  
 有馬郡誌編纂委員会編『有馬郡誌』昭和4年  
 岩岡村長木下虎彦『岩岡村自治内容奉告書』明治43年  
 下村富士男『日本全史』9 東京大学出版会 1968年  
 原田敬一「憲政擁護運動は交詢社のストーブのまわりから起こったのか」(今井清一ほか編『日本近代史の虚像と実像』2 大月書店 1990年)  
 兵庫県『兵庫県郡役所事績録』昭和2年  
 兵庫県農会『兵庫県農会史』昭和5年  
 升味準之輔『日本政党史論』3, 4巻 東京大学出版会 1967年  
 御影町役場『御影町誌』昭和11年  
 美嚢郡教育会『美嚢郡誌』大正15年  
 武庫郡教育会『武庫郡誌』大正10年  
 武庫郡役所『武庫郡会史』大正14年  
 本山村誌編纂委員会『本山村誌』昭和28年

## 第3章 (第1, 2章と重複するものは除く)

- 安達正明「神戸の「米騒動」と社会主義者・そのほか」(『歴史と神戸』創刊号 神戸史学会 昭和47年)  
 阿部 環「戦前の都市計画事業—奥中喜代一氏に聞く」(『神戸の歴史』3号 神戸市 昭和56年)  
 池田 信『日本機械工組合成立史論』日本評論社 1970年  
 石田太郎「電気事業経済に就いて」(『都市研究』昭和8年1月号 兵庫県都市研

研究会 昭和8年)

- 石田頼房『日本近代都市計画の百年』自治体研究社 1987年
- 石塚裕道『日本近代都市論』東京大学出版会 1991年
- 伊藤貞五郎『神戸市長物語』大正14年
- 井上清・渡辺徹編『米騒動の研究』第3巻 有斐閣 昭和35年
- 大前朗郎・池田信『日本労働運動史論』日本評論社 昭和41年
- 大村武雄『神戸市立湊川商工実修学校三十年回顧録』神戸市立湊川商工実修学校  
昭和2年
- 奥中喜代一「都市計画第三期事業とこれに関連する諸問題」(『都市研究』第5巻  
第1号 兵庫県都市研究会 昭和4年)
- 奥中喜代一「神戸都市計画の過去及び将来」(『都市研究』昭和5年8月号 兵庫  
県都市研究会 昭和5年)
- 落合重信「明治三三年糞尿処理にからまる神戸の騒乱事件」(『歴史と神戸』15号  
神戸史学会 昭和39年)
- 落合重信『増訂 神戸の歴史』後藤書店 1989年
- 落合重信・陸井敏子「神戸の歴史 大正編3」(『歴史と神戸』98号 神戸史学会  
昭和55年)
- 小野寺逸也「昭和恐慌期における阪神地区の電燈料金値下げ運動」(『地域史研究』  
1巻1号 尼崎市史編修室 昭和46年)
- 賀川豊彦「精神運動と社会運動」(『賀川豊彦全集』8 キリスト新聞社 昭和37  
年)
- 桂 芳男『幻の総合商社 鈴木商店』社会思想社 昭和64年
- 桑村 寛『近代の教育と夜学校』明石書店 昭和58年
- 神戸開港百年史編集委員会『神戸開港百年史』建設編 神戸市 昭和45年
- 神戸史学会編『歴史と神戸』一特集・大正期の神戸一 46号 神戸史学会 昭和  
46年
- 神戸市教育史編集委員会編『神戸市教育史』第1集 神戸市教育史刊行委員会  
昭和41年
- 神戸市交通局六十年史編集委員会編『神戸市交通局六十年史』神戸市 昭和56年
- 神戸市神戸財産区『補修神戸区有財産沿革史』昭和16年
- 神戸商工会議所百年史編集委員会『神戸商工会議所百年史』神戸商工会議所 昭  
和57年
- 神戸市編『神戸市第2回労働統計実地調査』記述編 神戸市 昭和4年

- 神戸市連合青年団『神戸市連合青年団団報』第1号 大正13年  
 記念史編纂委員『神戸市連合青年団拾周年記念史』神戸市連合青年団 昭和7年  
 神戸市兵庫区弁天青年団『弁天一神戸市弁天青年団十五周年記念史』昭和11年  
 『神戸の歴史』編集部「電気事業買収の顛末」(『神戸の歴史』創刊号 神戸市  
 昭和55年)
- 小路田泰直「都市自治と部落問題についての考察」(『近代日本の社会史的分析』  
 部落問題研究所 平成元年)
- 城山三郎『鼠一鈴木商店焼打ち事件』文芸春秋社 昭和50年  
 高木伸夫「兵庫県水平運動史年表(草稿)」(『ひょうご部落解放』29号 兵庫部落  
 解放研究所 昭和62年)
- 都丸泰助『地方自治制度史論』新日本出版社 1982年  
 中川 清『日本の都市下層』勁草書房 昭和60年  
 中村隆英『戦前期日本経済成長の分析』岩波書店 昭和46年  
 『なだ』神戸市編入五十周年記念誌 灘三カ町神戸市編入五十周年記念行事協賛  
 会 昭和55年
- 布川 弘『『雲の柱』に見る労働運動論』(『雲の柱』解題 緑蔭書房 平成2年)  
 布川 弘「賀川豊彦と労働組合」(『雲の柱』7号 賀川豊彦記念松沢資料館 昭  
 和63年)
- 布川 弘「米騒動で鈴木商店が焼き打ちされたのはスケープゴートだったのか」  
 (『日本近代史の虚像と実像』2 大月書店 1990年)
- 原田政美『近代日本市場史の研究』そしえて 平成3年  
 「兵庫県党史」編集委員会『新版 兵庫県党のあゆみ』日本共産党兵庫県委員会  
 昭和61年
- 兵庫県労働運動史編さん委員会『兵庫県労働運動史』兵庫県商工労働部労政課  
 昭和36年
- 兵藤 釗『日本における労使関係の展開』東京大学出版会 昭和46年  
 前嶋雅光ほか『兵庫県の百年』山川出版社 1989年  
 『森垣亀一郎伝』森垣博士功績顕彰会 昭和42年  
 森脇甚一『炬火をかかげて』半どんの会 昭和44年  
 安保則夫『ミナト神戸コレラ・ペスト・スラムー社会的差別形成史の研究一』  
 学芸出版社 1989年

第4章 (第1, 2, 3章と重複するものは除く)

- 赤木須留喜『近衛新体制と大政翼賛会』岩波書店 昭和59年

- 赤木須留喜『翼賛・翼壯・翼政一統近衛新体制と大政翼賛会―』岩波書店 1990年
- 井上清・渡部徹『米騒動の研究』第1巻 有斐閣 昭和34年
- 尾崎耕司「昭和恐慌期の地域団体について―衛生組合と尿尿汲取問題―」（『神戸の歴史』19号 神戸市 昭和63年）
- 北長狭八青年会『北長狭八青年会々報』
- 神戸開港百年史編集委員会『神戸港開港百年史』港勢編 神戸市 昭和47年
- 神戸空襲を記録する会編『神戸大空襲』のじぎく文庫 昭和47年
- 神戸市教育史編集委員会『神戸市教育史』第2集 神戸市教育史刊行委員会 昭和39年
- 神戸市港湾局技術部計画課『神戸港大観』神戸市
- 神戸市下山手国民学校集団疎開を記録する会『集団疎開の思い出』 昭和55年
- 神戸市社会課『要保護世帯の生活状態調査』 昭和11年
- 神戸市従業員組合『神戸労働新聞』昭和6年
- 神戸市役所『神戸市水害誌』昭和14年
- 神戸市役所『執務提要』昭和16年
- 神戸市経済部産業研究所編『神戸市産業統計要覧』 昭和14年
- 神戸市産業課『神戸市産業要覧』昭和13年
- 神戸市役所商工課編『神戸市商工要覧』昭和五年版、十年版、十一年版
- 神戸商工会議所編『神戸商工情勢』昭和十年、十四年
- 神戸市臨時商工調査部編『神戸市工業調査書』神戸市 昭和10年
- 神戸市連合青年団『神戸市の青年』 昭和2～13年
- 神戸税関『神戸港概要』昭和十三年版
- 神戸税関編『神戸税関百年史』 昭和44年
- 神戸貿易協会編『神戸貿易協会史 100年のあゆみ』 昭和43年
- 財団法人東京市政調査会『五大都市町内会に関する調査』 昭和18年
- 須崎慎一「日本人の戦争観―「六甲開祖之碑」顛末―」（『近代』68号 神戸大学 1990年）
- 多田順一編『神戸市経済調査資料』第三輯 神戸市経済部産業研究所 昭和16年
- 朝鮮人強制連行真相調査団『朝鮮人強制連行調査の記録―兵庫編―』 柏書房 1993年
- 辻川 敦「第二次世界大戦における米軍の対日爆撃戦略」（『地域史研究』21巻3号 尼崎市立地域研究史料館 平成4年）

- 辻川 敦「阪神間の戦術的爆撃」(『歴史と神戸』172号 神戸史学会 平成4年)  
 東京市監査局区政課『大阪市, 京都市, 名古屋市, 神戸市ニ於ケル町会制度』  
 東京市 昭和11年
- 内務省衛生局『衛生組合法制定ニ関スル参考資料』 昭和6年  
 名古屋市役所『五大都市に於ける町会等隣保組織の現在』 昭和15年  
 西須磨小学校百周年記念事業実行委員編『西須磨の年輪』西須磨小学校百周年記  
 念誌 1990年
- 日本の空襲編集委員会『日本の空襲 六 近畿』三省堂 1980年  
 林 茂『日本の歴史25 太平洋戦争』中央公論社 1967年  
 原 忠明『激動期 六人の神戸市長』 昭和63年  
 兵庫県社会教育課『兵庫県社会教育概要』 昭和9年  
 吉原直樹『戦後改革と地域住民組織—占領下の都市町内会』ミネルヴァ書房  
 1989年  
 『日本金融史資料』昭和統編 付録 第3巻 日本銀行
- 第5章 (第1, 2, 3, 4章と重複するものは除く)
- 相原忠賢編『プロフィール神戸市会』神戸ニュースセンター 昭和55年  
 金 慶海編『在日朝鮮民族教育擁護闘争資料I』明石書店 昭和63年  
 建設省編『戦災復興誌』第10巻 財団法人都市計画協会 昭和36年  
 建設省編『神戸戦災復興誌』神戸市建設局計画部 昭和36年  
 神戸市警察史編集委員会『神戸市警察史』神戸市警察史編集委員会 昭和31年  
 神戸市経済局貿易課『戦後の神戸貿易』神戸市 昭和24年  
 神戸市選挙管理委員会『選挙の記録—昭和21年～昭和43年』  
 神戸市文化課『神戸市公報十カ町村合併記念号』昭和22年  
 神戸市役所『東部三カ町村合併記念号』昭和25年  
 高橋嘉一郎編『大都市制度史』資料編1 指定都市事務局 昭和50年  
 竹前栄治『GHQ』岩波新書 昭和58年  
 中井一夫伝編集委員会『百年を生きる』中井一夫伝 昭和60年  
 永江一夫『私の昭和史』 昭和51年  
 兵庫県警察史編さん委員会『兵庫県警察史』昭和編 兵庫県警察本部 昭和50年  
 兵庫県労働運動史編さん委員会『兵庫県労働運動史』戦後1 兵庫県 昭和58年  
 兵庫新聞社編『総選挙』 昭和35年  
 Hyogo Military Government Team “Monthly Military Government Activities

Report”（兵庫軍政部「月例報告書」）国会図書館憲政資料室  
“Government Section Papers”（「GHQ民生局文書」）国会図書館憲政資料室  
「神戸連絡調整事務局執務月報」昭和22年9月～26年11月 外交史料館  
「アイケルバーガー日記」

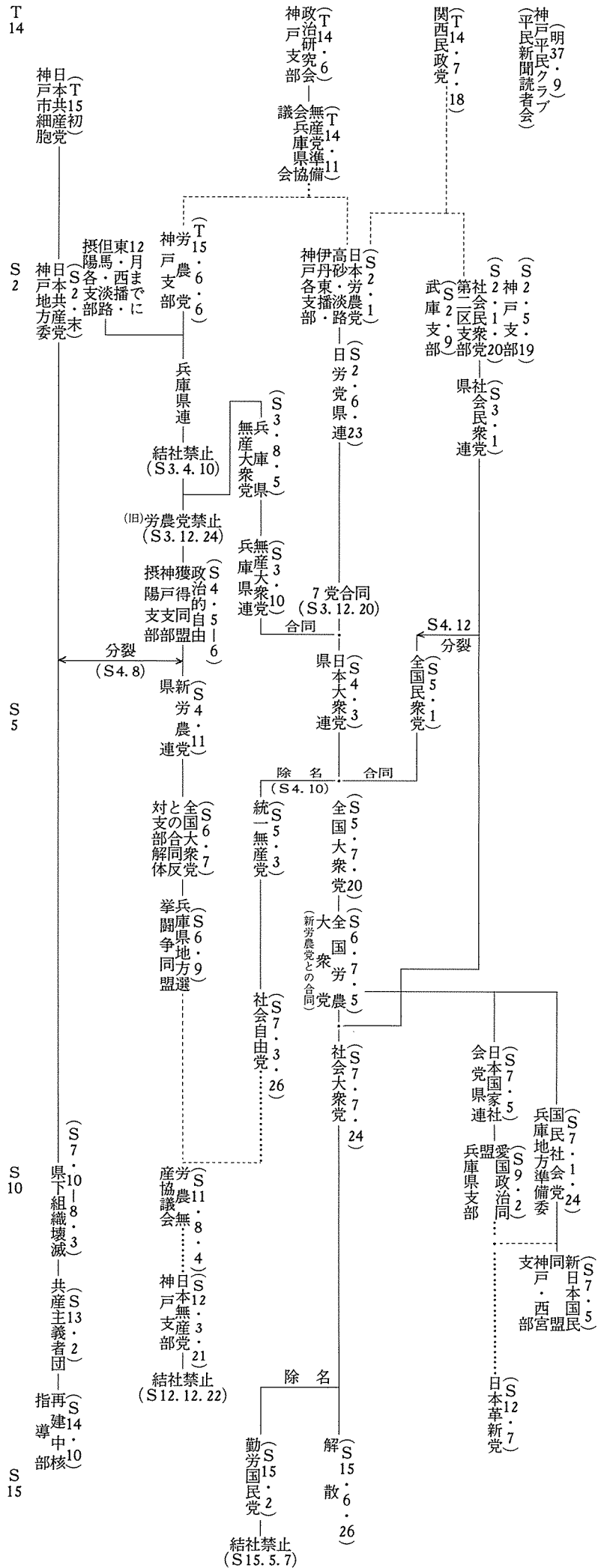
## 第6章 （第1, 2, 3, 4, 5章と重複するものは除く）

神戸ポートアイランド博覧会協会編『ポートアイランド博覧会公式記録』神戸ポ  
ートアイランド博覧会協会 昭和57年  
高寄昇三『10大都市時代』日本経済新聞社 昭和47年  
原口忠次郎『過密都市への挑戦』日本経済新聞社 昭和43年  
原口忠次郎『わが心の自叙伝』神戸新聞出版センター 昭和46年  
宮崎辰雄『人間環境都市への実践』日本評論社 昭和48年  
宮崎辰雄『都市の経営』日本経済新聞社 昭和54年  
宮崎辰雄『私の履歴書』日経事業出版社 昭和60年  
ポートアイランド建設史編集委員会編『ポートアイランドー海上都市建設の十五  
年』神戸市 昭和56年

## 本巻全体に関するもの

尼崎市『尼崎市史』  
西宮市『西宮市史』  
姫路市『姫路市史』  
兵庫県『兵庫県史』  
大阪市『新修大阪市史』  
神戸市『神戸市役所統計表』、『神戸市統計書』  
兵庫県『兵庫県統計概表』、『兵庫県統計書』  
『神戸又新日報』  
『神戸新聞』  
『大阪朝日新聞』, 同 神戸付録  
『大阪毎日新聞』  
神戸市『神戸市史』, 同第2輯, 同第3集  
神戸市会事務局『神戸市会史』

付  
図

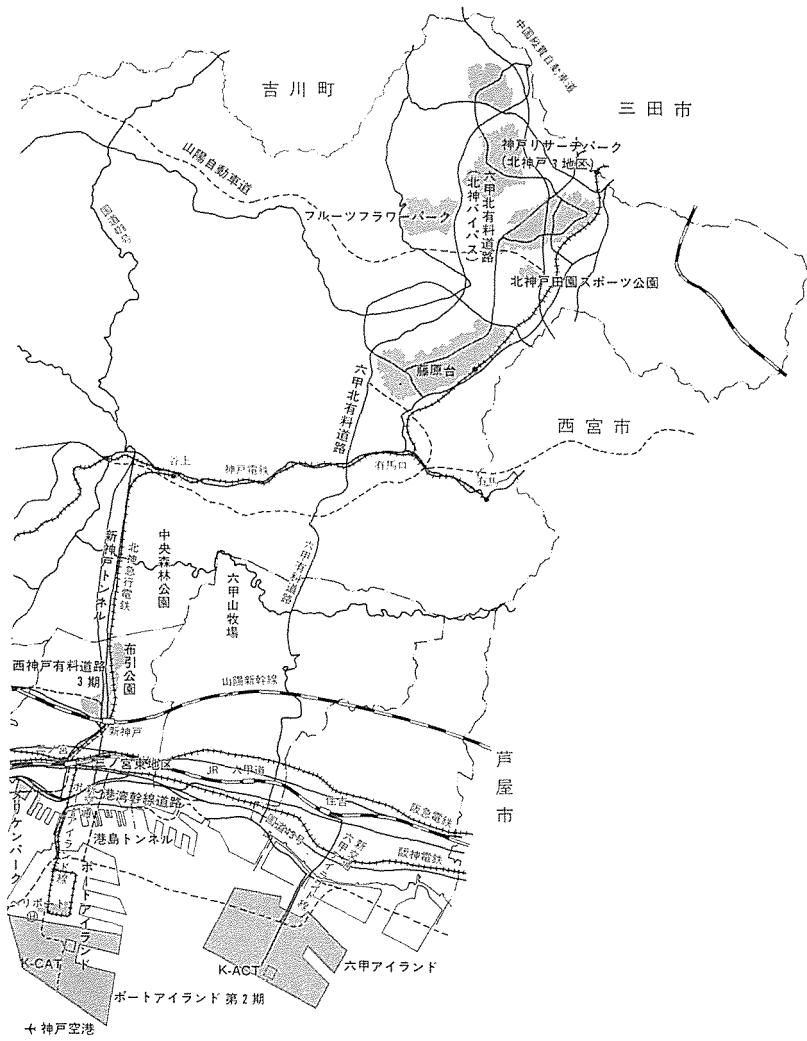


付図1 兵庫県無産政党组织変遷図(『兵庫県労働運動史』)





付図 2 神戸市主要



プロジェクト位置図

## 単位換算表

### 長 さ

丈=10尺=3.0303m  
 尺=10寸=30.303cm  
 寸=10分=3.0303cm  
 分=3.0303mm  
 間=6尺=1.8182m  
 町(丁)=60間=109.09m  
 里=36町=3.9273km  
 マイル(哩)=80チェーン=1.6093km  
 チェーン(鎖)=22ヤード=20.12m  
 ヤード(碼)=3フィート=0.9144m  
 フィート(呎)=12インチ=0.3048m  
 インチ(吋)=2.54cm

### 面 積

歩=坪=1平方間=3.3058m<sup>2</sup>  
 畝=30歩=99.174m<sup>2</sup>  
 反(段)=10畝=300歩=991.74m<sup>2</sup>  
 町=10反=3000歩=9917.4m<sup>2</sup>

### 体 積

石=10斗=180.39l  
 斗=10升=18.039l  
 升=10合=1.8039l  
 合=10勺=180.39cm<sup>3</sup>  
 石材 石=1尺×1尺×10尺=10才  
 木材 石=1尺×1尺×10尺

### 質 量

貫=1000匁=3.75kg  
 匁=10分=3.75g  
 分=10厘=0.375g  
 斤=160匁=600g  
 ポンド(封度)=16オンス=453.6g  
 オンス=28.35g

### 米 換 算

玄米1石=0.15t  
 // 1升=1.5kg

### 貨 幣

金貨(計数貨幣)	銀貨(秤量貨幣)
両=4分(歩)	貫=1000匁
分=4朱	匁=10分
銅貨 錢(計数貨幣)	分=10厘
貫=1000文	厘=10毛
文=錢1枚	

円=100錢

錢=10厘

(明治4年の新貨条例では1円を1兩に充てるとしていた。)

# 付 表

付表 1 市域における

年次	コレラ	腸チフス	発疹チフス	赤痢	ジフテリア	天然痘	脚気
* 1 明治12	7,344	314	329	41	44	21	
13	20	341	37	6	7	1	
14	356	169	13	9	1	—	
16	6 (1)	115 (17)	10 (4)	2 (1)	14 (11)	— (—)	298 (237)
17	9 (3)		225 (134)	11 (2)	11 (5)	1 (1)	697 (516)
18	731 (470)	472 (240)	10 (4)	14 (9)	32 (11)	2,201 (1,304)	319 (290)
19	3,238 (2,020)	1,429 (741)	862 (780)	17 (9)	28 (7)	1,445 (791)	
20	32 (8)	848 (397)	194 (181)	89 (51)	4 (1)	12 (11)	
21	19 (12)	580 (346)	89 (79)	109 (22)	4 (4)	25 (20)	
22	19 (12)	402 (226)	3 (3)	123 (90)	15 (12)		
23	1,944 (1,525)	265 (160)	4 (3)	60 (25)	25 (20)		
24	132 (112)	637 (435)	254 (220)	116 (55)	37 (26)		
25	21 (17)	275 (202)	15 (15)	1,060 (109)	98 (72)	653 (606)	
26	10 (5)	734 (469)	48 (45)	4,731 (1,916)	104 (81)		
27	11 (7)	432 (240)	8 (7)	990 (433)	69 (58)		
* 2 28	1,811	407	34	123	62		
32	12	161		95	221		
33	5	136		102	185		
34	—	197		46 (5)	147		
35	811	227		72	123		
36	62	106		87	128		
37	33	509		183	143		
38	6	274		483 (205)	98		
39	—	281		186	226		
40	486	240		132	273		
41	—	258		132	150		
42	1	138		126	122		
43	379	172		125	136		
44	1	144		309	148		
大正 1	24	329		307	161		

伝染病発生件数

(1)

麻疹	痘瘡	猩紅熱	ペスト	パラチフス	流行性脳脊髄膜炎	疫痢	合計
							8,005
							1,298
							1,401
							455
							(271)
							987
							(822)
							20,537
16,758							(7,756)
							7,019
							1,180
							(697)
							826
							(483)
	5						571
	(5)						(348)
	2						2,301
	(2)						(1,735)
							1,178
							(849)
							2,121
							(1,021)
	1,652						7,280
	(1,432)						(3,948)
	39						1,549
	(8)						(753)
	1						
	1	2	22				517
	1	2	3				434
	2	2	—				397
	—	2	1				1,266
	29	5	—				417
	8	5	1				882
	3	8	85				1,238
	4	5	64				766
	817	8	2				1,958
	4,420	12	76				5,048
	6	7	269				669
	5	16	7				840
	11	3	—	10			626
	4	29	—	54			840

年次	コレラ	腸チフス	発疹チフス	赤痢	ジフテリ ア	天然痘	脚気
大正 2	—	328	—	437	228		
3	—	412	—	901	235		
4	—	552	—	1,447	351		
5	656	450	—	652	256		
6	5	438	—	893	268		
7	1	602	—	154	213		
8	52	745	—	450	178		
9	609	479	—	368	134		
10	—	584	—	370	118		
11	—	650	—	578	171		
12	—	703	—	665	155		
13	—	981	—	593	189		
14	37	1,168	—	531	190		
昭和 1	—	625	—	562	270		
2	—	680	—	849	243		
3	—	748	—	445	330		
4	7	722	—	746	337		
5	—	719	—	844	276		
6	1	677	—	941	317		
7	1	780	—	1,249	158		
8	—	1,128	2	1,899	491		
9	—	1,019	1	1,398	392		
10	—	785	—	1,370	441		
11	—	786	—	1,543	559		
12	1	1,037	—	1,718	497		
13	—	905	—	2,697	462		
14	—	829	—	2,151	668		
15	—	953	—	2,122	920		
16	—	1,141	2	1,515	839		
17	—	965	1	1,226	860		
18	—	1,568	28	746	1,088		
19	—	2,543	9	647	1,455		
20	—	2,513	20	309	893		
21	—	547	1,047	195	183		

(注) \*1 明治12年は兵庫県全域。同13・14年は領域のうち摂津国。同16～27年は神戸市(区)八部郡・葦原  
\*2 明治28年は31年までの4年間分。同28年以後は神戸市のみ。

資料: 『兵庫県統計書』

(2)

麻疹	痘瘡	猩紅熱	ペスト	パラチフス	流行性脳脊髄膜炎	疫痢	合計
	1	35	6	—			1,141
	4	52	—	103			1,707
	—	38	—	151			2,539
	190	24	—	146			2,374
	562	27	—	137			2,380
	239	26	1	149	170		1,555
	1,264	47	2	113	433		3,284
	51	28	—	86	98		1,854
	29	37	2	170	49		1,359
	12	63	—	163	41		1,678
	15	54	—	114	33		1,739
	25	64	—	81	20		1,953
	8	65	—	111	41		2,129
	11	64	—	78	17		1,627
	4	62	—	134	15		1,987
	10	110	—	102	9		1,754
	1	107	—	92	6		2,018
	—	108	—	87	7		2,171
	3	93	—	64	7		2,103
	12	148	—	73	4		2,625
	3	209	—	46	16		3,791
	1	245	—	53	15		3,124
	2	320	—	46	24		2,988
	3	402	—	63	19		3,375
	1	454	—	63	14		3,785
	4	421	—	60	33		4,582
	60	445	—	52	25		5,230
	2	393	—	61	12		4,463
	1	322	—	71	20		3,911
	—	269	—	53	19	469	3,862
	6	230	—	166	15	283	4,130
	—	90	—	134	9	131	5,018
	259	32	—	158	18	30	4,232
	940	10	—	42	12	17	3,000

郡・有馬郡・明石郡・美濃郡の合計、( )内は神戸市(区)。



付表 2

## 市会議員選挙（明治25年4月）

等級	1 級			2 級			3 級		
	区	氏名	党派 得票	氏名	党派 得票	氏名	党派 得票	氏名	党派 得票
葺合		植田兵次郎		井上藤次郎		山本 繁蔵 滝本甚右衛門	自由 改進		
神戸		杉山 利介 船井長四郎 横田 孝史	改進 改進	小寺泰次郎 丹波 鎌蔵 生島四郎左衛門	自由 改進 改進	桑田弥兵衛 飯田 勇記 村上五郎兵衛 為田喜兵衛 藤原吉三郎	自由 自由 改進		
湊東		大庭竹四郎	改進	友成徳二郎	改進	本城安次郎 高德藤五郎	自由 改進		
湊西		池長 通 志賀 玄光 鎌田 覚蔵 柏木荘兵衛	改進	小曾根喜一郎 上田栄次郎 藤田松太郎 楯谷平四郎 黒田仁兵衛 岸本豊太郎 桃木 武平	改進 改進 自由 自由 中立 改進	神田兵右衛門 岡田元太郎 湯野 常七 加藤治郎兵衛 有馬市太郎 明石 甚八	中立 自由 改進 改進		

## 市会議員選挙（明治28年4月21日）

等級	1 級			2 級			3 級		
	区	氏名	党派 得票	氏名	党派 得票	氏名	党派 得票	氏名	党派 得票
葺合				小林 春城* 長浜清五郎		13 13	滝本甚右衛門	改進	89
神戸		小寺泰次郎 渡辺 尚 船井長四郎	自由 9 8 6	半田 藤吉	31		藤原吉三郎 森田佐右衛門		130 129
湊東		滝川 弁三	7	友成徳二郎 滝川 弁三	改進	22 20			
湊西		須田 藤吉 湯野清兵衛 生田 元七	15 14 12	牧野 栄介 杉本定五郎		76 72	大村 佐七 加藤治郎兵衛 上田栄次郎 神田直五郎	改進	321 308 290 153

（注） \*小林春城は辞任 湊東部において滝川弁三が一級・二級とも当選している。

資料：『神戸新聞』『神戸市会史』1

市会議員選挙（明治31年4月19日）

等級	1 級				2 級				3 級			
	区	氏名	党派	得票	氏名	党派	得票	氏名	党派	得票		
葺合		若林 金七	自由	6	横山 浅雄	中立	24					
神戸					桑田弥兵衛	進歩	67	瀬鴻庄左衛門	進歩	381		
					今井善右衛門	自由	66	専崎弥五平	自由	334		
湊東		沢井 広胖	進歩	9				高德藤五郎	進歩	201		
		大庭竹四郎	進歩	8				中島 大二	進歩	180		
								梶谷 慶藏	進歩	166		
湊西		池長 通	進歩	1	喜多伊兵衛	米肥派	39	中村 謙藏	自由	396		
		岡田元太郎	自由	1	本多 義知	米肥派	36	八尾善四郎	自由	234		
		牛場 卓藏	中立	1	沢田亀之助	米肥派	36					
					藤田松太郎	自由	30					

市会議員選挙（明治34年4月19日）

等級	1 級				2 級				3 級			
	区	氏名	党派	得票	氏名	党派	得票	氏名	党派	得票		
葺合					大森 喜作	政友	91	井上 善吉	政友	207		
神戸		太田保太郎	中立	4	吉阪 邦三	政友	56	坪田 十郎	政友	875		
		神代郁之進	中立	4	生島五兵衛	憲本	54	藤原吉三郎	憲本			
		伊藤 俊介	中立	3								
		物集伴次郎	中立	2								
湊東		川瀬 彦輔	憲本	8	黒原 好二	憲本	77					
					土本荘兵衛	憲本	77					
					福橋 亀吉	政友	75					
湊西		鎌田 覚藏	中立	1	有馬市太郎	中立	79	小山 政吉	政友	396		
		直木久兵衛	中立	1				石富七三郎	政友	234		
		渡辺 尚	中立	1				吉尾 利八	政友			
							臼井雪次郎	政友				

付表 3 明治前期の領域、区・戸長役場の区域変遷

摂津国			兵 庫 県	兵 庫 県	兵 庫 県	明 治 22 年
郡	町 村	明治 2 領域	明治 5 区 制	明治 13 年 戸 長 役 場 組 番	明治 16 年 戸 長 役 場 組	市 町 村
菟原	深江	兵庫県	.....6	9	深江組	本庄村
	東青木	〃	.....6	(青木) 8	魚崎組	
	青木	〃	.....6			8
	西青木	〃	.....6	7	魚崎組	魚崎村
	魚崎	〃	.....6	7	〃	田中組
	横屋	〃	.....6	8	〃	
	森	尼崎藩	.....6	8	〃	本山村
	中野	尼・兵	.....6	6	〃	
	小路	尼崎藩	.....6	6	〃	御影村
	北畑	〃	.....6	6	〃	
	田辺	〃	.....6	6	〃	住吉組
	岡本	〃	.....6	6	〃	
	田中	兵庫県	.....6	6	田中組	住吉村
	野寄	尼崎藩	.....6	6	住吉組	
	住吉	兵庫県	.....6	6	住吉組	御影村
	郡家	尼崎藩	.....6	5	御影村	
	御影	兵庫県	.....5	4	東明組	八幡組
	東明	〃	.....5	4	〃	
	石屋	〃	.....5	4	〃	六甲村
	徳井	〃	.....5	4	〃	
高羽	尼崎藩	.....5	(高羽) 4	八幡組	都賀浜村	
平野	〃	.....5	4	〃		
水車新田	兵庫県	.....5	2	〃	都賀浜村	
篠原	古・兵	.....5	4	〃		
都賀	尼崎藩	.....(新生) 5	4	〃	新在家組	
八幡	尼・石河氏	.....5	3	新在家組		
田林新田	兵庫県	.....	2	森組	都賀浜村	
新在家	〃	.....5	2	〃		
大石	尼・兵	.....5	2	〃	都賀浜村	
五毛	尼崎藩	.....5	2	〃		
上野	〃	.....5	2	〃		

郡	畑原	兵庫県	5	2	〃	都賀野村
	九郎右衛門新田	〃	5	2	〃	
	味泥	〃	5	2	〃	
	河原	〃	5	2	〃	
	鍛冶屋	〃	5	2	〃	
	原田	尼崎藩	5	2	〃	
	森	〃	5	2	〃	
	稗田	兵庫県	5	2	〃	
	岩屋	〃	5	2	〃	
	筒井	〃	5	2	〃	
	脇浜	〃	5	2	〃	
	中尾	〃	5	2	〃	
	中	尼崎藩	5	(葺合)1	葺合組	
	滝寺	古河藩	5			
熊内	兵庫県	5				
生田	〃	5				
小野新田	〃	5				
八	神戸	兵庫県	1	神戸区	神戸市	
	二ツ茶屋	〃	1	神戸		
	走水	〃	1	1		神戸
	北野	〃	1			
	生田宮	〃	1			
	中宮	〃	1			
	花熊	〃	1			
	宇治野	〃	1			
	坂本	〃	2	2		湊川東組
	兵庫津	〃	2	2		湊川西組
			2	3		湊川西組
			2			
				八部郡		
	荒田	〃	2	1		奥平野組
奥平野	兵・足・片	2	1	〃		
石井	兵庫県	2	1	〃		
夢野	兵・足	2	1	〃		
				湊村		

部	鳥原	兵庫県	.....2.....	1	〃	東尻池組	
	御崎	足利氏	.....3.....	2	〃		
	東尻池	兵庫県	.....3.....	2	〃		
	吉田新田	〃	.....3.....	2	〃		林田村
	西尻池	〃	.....3.....	2	〃		
	長田	古河藩	.....3.....	2	〃		
	駒ヶ林	兵庫県	.....3.....	3	〃		
	野田	長谷川氏	.....3.....	3	〃		
	口妙法寺	兵庫県	.....2.....	(妙法寺)4	板宿組		
	奥妙法寺	〃	.....2.....		〃		
	車	〃	.....2.....	4	〃		
	白川	〃	.....2.....	4	〃	須磨村	
	池田	蒔田氏	.....3.....	4	〃		
	西代	兵庫県	.....3.....	4	〃		
	板宿	〃	.....3.....	4	〃		
	大手	〃	.....3.....	4	〃		
	東須磨	〃	.....3.....	5	〃		
	西須磨	〃	.....3.....	5	〃		
	多井畑	浅尾藩	.....3.....	5	〃		
	東小部	兵庫県	.....4.....	6	(小部)		
西小部	〃	.....4.....	6	奥平野組			
郡	上谷上	〃	.....4.....	6	中組		
	下谷上	〃	.....4.....	6	〃		
	与左衛門 新田	〃	.....4.....	6	〃		
	藍那	〃	.....4.....	7	〃	山田村	
	原野	〃	.....4.....	7	〃		
	福地	古河藩	.....4.....	7	〃		
	中	兵庫県	.....4.....	7	〃		
	東下	兵・古	.....4.....	7	〃		
	西下	古河藩	.....4.....	7	〃		
	坂本	兵庫県	.....4.....	7	〃		
衝原	古河藩	.....4.....	7	〃			
小河	〃	.....4.....	7	〃			
				有馬郡			
	湯ノ山町	兵庫県	.....19.....	5	湯山町	湯山町	

有	唐櫃	〃	19	5	有野組	
	二郎	飯野藩 (上二郎)	18	(二郎) 7	〃	
		(下二郎)	18			
	切畑	半原藩	18			有野村
	堀越	〃	18			
	西尾	〃	18	(有野) 7	〃	
	岡場	〃	18			
	田尾寺	〃	18			
	結場	半・安部氏	18			
	馬場	安部氏	18			
	生野	田安家	19	3	道場川原組	
	平田	〃	19	3	〃	
	道場川原	飯野藩	18	3	〃	
	塩田	飯・三・兵	19	3	〃	
	日下部	田安家	19	3	〃	道場村
馬	上津下	田・飯	18			
	上津上	田・兵	18	(上津谷) 3	〃	
	岩谷	飯野藩	18			
	下宅原	兵庫県	18			
	上宅原	飯野藩	(有井) 18	(宅原) 3	〃	
			(豊浦) 18			
			(岡) 18			
	中	田安家	18	8	吉尾組	
	上小名田	〃	18	8	〃	
	下小名田	〃	18	8	〃	
	吉尾	兵庫県	18	8	〃	八多村
	柳谷	〃	18	8	〃	
	附物	三田藩	18	8	〃	
	屏風	〃	18	8	〃	
	深谷	〃	18	8	〃	
		(神付) 18	9	中大沢組		
上大沢	〃	18	9	〃		
中大沢	〃	(北中大沢) 18	(中大沢) 9	〃	大沢村	
		(南中大沢) 18				
日西原	〃	18	9	〃		
籬	〃	18	9	〃		

	市原	//	.....18.....	9	//	
	播磨国	明治2年 領域	飾磨県 明治5年 大小区			
	郡	町	村			
美 囊 郡	神田	明石藩	.....2-2.....	5	木津組	
	野瀬	//	.....2-2.....	5	//	
	撫石	//	.....2-2.....	(神影) 5	//	上淡河村
	石峯寺	//	.....2-2.....			
	中山	//	.....2-2.....	5	//	
	東畑	//	.....2-2.....	4	//	
	北畑	//	.....2-2.....	4	//	
	行原	//	.....2-2.....	4	//	
	木津	//	.....2-2.....	4	//	
	南萩原	//	.....2-2.....	(萩原) 4	//	
	北萩原	//	.....2-2.....			
	北僧尾	//	.....2-2.....	4	//	淡河村
	南僧尾	//	.....2-2.....	4	//	
	中	//	.....2-2.....	(淡河) 4	//	
	淡河町	//	.....2-2.....			
東下	//	.....2-2.....	(下) 3	//		
西下	//	.....2-2.....				
明	塩屋	//	.....1-1.....	5	東垂水組	
	下畑	//	.....1-1.....	5	//	
	東垂水	//	.....1-1.....	5	//	垂水村
	西垂水	//	.....1-1.....	5	//	
	山田	//	.....1-1.....	5	//	
	多聞	//	.....1-1.....	5	//	
	東名	//	.....1-1.....			
	西名	//	.....1-1.....			
	滑	//	.....1-1.....	(名谷) 5	//	
	中山	//	.....1-1.....			
	奥畑	//	.....1-1.....			
	布施畑	//	.....1-1.....	6	前開組	
	門前	//	.....1-1.....			
東皆発	//	.....1-1.....	(前開) 6	//		

石

下皆発	//	.....1-1.....			
小寺	//	.....1-1.....	6	//	
吹上新田	//	.....1-1.....	(井吹) 6	別府組	
永井	//	.....1-1.....			伊川谷村
長坂	//	.....1-1.....	6	//	
生田	//	.....1-1.....	(有瀬) 6	//	
漆山新田	//	(漆山) 1-1.....			
池上	//	.....1-1.....	(上脇) 6	//	
脇	//	.....1-1.....			
南別府	//	.....1-1.....	(別府) 6	//	
北別府	//	.....1-1.....			
白水	//	.....1-1.....			
東河原	//	.....1-1.....	(潤和) 6	//	
井出	//	.....1-1.....			
寺谷	//	.....1-2.....	8	長谷組	
友清	//	.....1-2.....	8	//	
福谷	//	.....1-2.....	8	//	
如意寺	//	.....1-2.....			
谷口	//	.....1-2.....	(谷口) 8	//	
池谷	//	.....1-2.....	8	//	楯谷村
長谷	//	.....1-2.....	8	//	
栃木	//	.....1-2.....	8	//	
菅野	//	.....1-2.....	8	//	
松本	//	.....1-2.....	8	//	
新方	//	.....1-2.....	7	高津橋組	
池野	//	.....1-2.....	(上池) 7	//	
西河原	//	.....1-2.....	7	//	
高津橋	//	.....1-2.....	7	//	
今津	//	.....1-2.....	7	//	玉津村
水谷	//	.....1-2.....	7	//	
二ツ屋	//	.....1-2.....	7	下津橋組	
居住	//	.....1-2.....	7	//	
田中	//	.....1-2.....	7	//	
小山	//	.....1-2.....	7	//	
新	//	.....1-2.....	7	//	
下津橋	//	.....1-2.....	7	//	



郡	吉田	〃	.....1-2.....	7	〃	
	森友	〃	.....1-2.....	7	〃	
	鴨谷	〃	.....1-3.....	(堅田)10	和田組	
	金屋	〃	.....1-3.....			
	繁田	〃	.....1-3.....	10	〃	
	黒田	〃	.....1-3.....	10	〃	
	大畑	〃	.....1-3.....	10	下組	平野村
	宮前	〃	.....1-3.....	10	〃	
	常本	〃	.....1-3.....	10	〃	
	西戸田	〃	.....1-3.....	10	〃	
	印路	〃	.....1-3.....	10	〃	
	下	〃	.....1-3.....	10	〃	
	向井	〃	.....1-3.....	10	〃	
	福中	〃	.....1-3.....	10	〃	
	芝崎	〃	.....1-3.....	10	〃	
	大野	〃	.....1-3.....	10	〃	
	慶明	〃	.....1-3.....	10	〃	
	中	〃	.....1-8.....	(中津)10	〃	
	上津橋	〃	.....1-8.....			
	木津	〃	.....1-3.....	9	福住組	
	木見	〃	.....1-3.....	9	〃	
	小	〃	.....1-3.....	9	〃	
	栄	〃	.....1-3.....	9	〃	
	押部	〃	.....1-3.....	9	〃	
	福住	〃	.....1-3.....	9	〃	押部谷村
	細田	〃	.....1-3.....	9	〃	
	西	〃	.....1-3.....	9	〃	
	近江	〃	.....1-3.....	9	〃	
	高和	〃	.....1-3.....	(高和) 9	和田組	
	性海寺	〃	.....1-3.....			
養田	〃	.....1-3.....	10	〃		
和田	〃	.....1-3.....	10	〃		
神出田井	〃	(田井) 1-3.....	11	田井組		
神出南	〃	(南) 1-3.....	11	〃		
神出北	〃	(北) 1-3.....	11	〃		
神出東	〃	(東) 1-3.....	11	〃		

神出小神	//	(小神)1-3	11	//	神出村
五百藏新	//	-----1-3	11	//	
勝成新	//	-----1-3	11	//	
広谷	//	-----1-9	(広谷)11	//	
山西	//	-----1-9		//	
吉生	//	-----1-9	(紫合)11	//	
池下	//	-----1-9		//	
池田	//	-----1-9	11	//	
神納	//	-----1-9		//	
新新田	//	-----1-9	(宝勢)11	//	
北古新田	//	-----1-9		//	
南古新田	//	-----1-9		//	
天ヶ岡	//	-----1-9	(岩岡)12	岩岡組	
赤坂	//	-----1-9			
境新	//	-----1-9			
野中上	//	-----1-9			
野中下	//	-----1-9	12	//	
竜ヶ岡	//	-----1-9			
秋田	//	-----1-9	(古郷)12	//	
福吉	//	-----1-9			

(注) 領域欄～氏は中下大夫領，尼・兵は尼崎藩と兵庫県の入組みを示す，足は足利氏，片は片桐氏，以下同様。

区・戸長役場欄の数字は，所属の番号で，( )内は合併その他による新村名。飾磨県明治3年の区画拡大の詳細は不明。

明治22年の岩岡村には，このほか印路村の一部・西脇村の一部が含まれる。

資料：『旧高旧領』，『兵庫県史料』，『兵庫県布達』，『兵庫県町村合併史』

付表 4 郡部選出の県会議員

時期 郡	初 期	定 期	定 期	定 期	定 期
	12年2月～ 13年11月	13年11月～ 16年2月	16年2月～ 17年5月	17年5月～ 18年12月	18年12月～ 21年1月
八 部 郡 (定員2)	松田彦右衛門 (東須磨)	留任, 辞任 松田彦右衛門 補欠 武井伊右衛門 (板宿)	改選 村田平左衛門 (奥平野)	留任, 辞任 村田平左衛門 補欠 窪井安治郎 (大手)	改選 窪井安治郎
	天宅藤右衛門 (東尻池)	留任 天宅藤右衛門	改選 天宅藤右衛門	留任, 辞任 天宅藤右衛門 補欠, 辞任 天宅藤右衛門 補欠 池本文太郎	改選, 辞任 村田平左衛門 補欠 池本文太郎 (西尻池)
菟原郡 (定員2)	新居嘉右衛門 (御影)	留任, 辞任 新居嘉右衛門 補欠 中島清武 (葺合)	改選, 辞任 中島清武 補欠 滝本甚右衛門 (葺合)	留任 滝本甚右衛門	改選 滝本甚右衛門
	平野順次 (郡家)	留任, 辞任 平野順次 補欠 吉田亀之助 (住吉)	改選 吉田亀之助	留任 吉田亀之助	改選 吉田亀之助
有馬郡 (定員2)	辞任 田中俊児 (有野) 補欠 北村万次郎 (東三田)	改選 福井寿吉 (川除)	留任 福井寿吉	改選 細木喜兵衛 (上山口) 補欠 小南清三郎 (上沢谷)	留任 小南清三郎
	辞任 松元駿 (三田) 補欠 天岡源六 (三田)	留任 天岡源六	改選 田中俊児	留任, 辞任 田中俊児 補欠 有井甚吉 (宅原)	改選 有井甚吉
明石郡 (定員2 ↓ 3)	永田与三吉 (大久保)	改選, 辞任 安藤安太 (大久保) 補欠 重田寛載 (大蔵谷)	留任 重田寛載	改選, 辞任 重田寛載 補欠 吉田吉十郎 (明石)	留任 吉田吉十郎
	辞任 美濃部寛 (大明石) 補欠 卜部兵吉 (魚住)	改選 海妻京次郎 (黒田)	留任 海妻京次郎	改選 安藤助九郎 (大久保)	留任, 辞任 安藤助九郎 補欠 丹田可作 (潤和)

定 期	郡部会解散二 付改選	定 期	定 期	定 期	定 期
21年 1月～ 21年 3月	21年 4月～ 23年 2月	23年 2月～ 25年 2月	25年 2月～ 27年 2月	27年 2月～ 29年 2月	29年 2月～ 29年 9月
留任 窪井安治郎	改選 窪井安治郎	改選 窪井安治郎	留任 窪井安治郎	改選 藻川豊三郎 (林田)	留任 藻川豊三郎
留任, 辞任 池本文太郎	改選 村田平左衛門	改選, 辞任 谷富之助 (石井) 補欠 岩崎佐兵衛 (山田)	留任 岩崎佐兵衛	改選 角井辰右衛門 (山田)	留任 角井辰右衛門
留任 滝本甚右衛門	改選, 辞任 滝本甚右衛門 補欠 吉田亀之助	留任 吉田亀之助	改選 松本与一郎 (都賀浜)	留任 松本与一郎	改選 小川忠次郎
留任 吉田亀之助	改選, 辞任 牧野惟雄 (御影) 補欠 松田与左衛門 (魚崎)	改選 松田与左衛門	留任, 辞任 松田与左衛門 補欠 嘉納治兵衛 (御影)	改選, 辞任 花木甚右衛門 (都賀浜) 補欠 殿村善四郎 (御影)	留任 殿村善四郎
改選 小南清三郎	改選 小南清三郎	留任 小南清三郎	改選 大西善太郎 (三輪)	留任 大西善太郎	改選 大西善太郎
留任 有井甚吉	改選 沢野応吉 (三田)	改選 藤井友次郎 (大沢)	留任 藤井友次郎	改選 藤井友次郎	留任 藤井友次郎
改選 水田度三郎 (大窪)	改選 水田度三郎	留任 水田度三郎	改選 楞野貞一 (魚住)	留任 楞野貞一	改選 前田孝典 (明石)
改選 丹田可作	改選 丹田可作	留任 丹田可作	改選 石本文藏 (明石)	留任 石本文藏	改選 池田豊 (押部谷)

時期 郡	初期	定期	定期	定期	定期
	12年2月～ 13年11月	13年11月～ 16年2月	16年2月～ 17年5月	17年5月～ 18年12月	18年12月～ 21年1月
美 蔭 郡 (定員 2)	石田貫之助 (渡瀬)	留任 石田貫之助	改選 石田貫之助	留任 石田貫之助	改選 石田貫之助
	赤松平兵衛 (小林新田)	改選 前田熊市 (野瀬)	留任 前田熊市	改選 岸本源治郎 (大沢)	留任, 辞任 岸本源治郎 補欠 前田熊市

(注) ( )内は居住町村名, ただし明治21年の郡部会解散までは旧村(近世村)名, それ以後は行政町村名。

定 期	郡部会解散= 付改選	定 期	定 期	定 期	定 期
21年 1月～ 21年 3月	21年 4月～ 23年 2月	23年 2月～ 25年 2月	25年 2月～ 27年 2月	27年 2月～ 29年 2月	29年 2月～ 29年 9月
増員 鞍谷 清慎 (平野)	改選, 辞任 高島 正領 (大蔵谷) 補欠 永田 与三吉	改選 鞍谷 清慎	留任 鞍谷 清慎	改選 豊田市之助 (楯谷)	留任 豊田市之助
留任 石田 貫之助	改選 石田 貫之助	改選, 辞任 石田 貫之助 補欠 土居 源三郎 (口吉川)	留任 土居 源三郎	改選 前田 寛一 (上淡河)	留任 前田 寛一
改選 池田 康太郎 (三木)	改選, 死亡 押部 貴一 (三木) 補欠 前田 熊市	留任, 辞任 前田 熊市 補欠 池田 康太郎	改選 黒田 仁左衛門 (三木)	留任 黒田 仁左衛門	改選 宮崎 新蔵 (三木)

付表 5 神戸市の衆議院選挙

第12回 (大正4年3月25日)

当	田村新吉	大隈伯後援会	1,857 <sup>票</sup>
〃	野添宗三	国民党	1,734
落	坪田十郎	政友会	1,050
〃	岡崎藤吉	大隈伯後援会	1,040
〃	松尾小三郎	中立	636

同上党派別当選者数(上)と得票率(下)

区分	同志会	政友会	国民党	中正会	大隈 伯後 援会	中 の 立 他
神戸市	人 1 % 16.6	人 1 % 27.4	人 1 % 45.8	人 1 % 10.1	人 1 % 10.1	人 1 % 10.1
兵庫県	人 5 % 29.8	人 2 % 16.8	人 3 % 16.6	人 1 % 5.3	人 2 % 22.1	人 2 % 14.5
全国	人 153 % 36.9	人 108 % 31.5	人 27 % 7.5	人 33 % 7.2	人 12 % 4.0	人 48 % 12.1

第13回 (大正6年4月20日)

当	野添宗三	国民党	2,155 <sup>票</sup>
〃	坪田十郎	政友会	1,835
落	鹿島秀麿	憲政会	1,437
〃	松尾小三郎	中立	777

同上党派別当選者数(上)  
と得票率(下)

区分	政友会	憲政会	国民党	中 の 立 他
神戸市	人 1 % 29.6	人 1 % 23.2	人 1 % 34.7	人 1 % 12.5
兵庫県	人 2 % 19.3	人 7 % 43.2	人 4 % 29.2	人 1 % 7.0
全国	人 165 % 38.8	人 121 % 36.0	人 35 % 9.7	人 60 % 14.9

第14回 (大正9年5月10日)

当	砂田重政	国民党	5,494 <sup>票</sup>
〃	野田文一郎	憲政会	5,031
〃	坪田十郎	政友会	3,113
落	竹馬隼三郎	中立	2,777

同上党派別当選者数(上)と  
得票率(下)

区分	政友会	憲政会	国民党	中 の 立 他
神戸市	人 1 % 18.9	人 1 % 30.6	人 1 % 33.4	人 1 % 16.9
兵庫県	人 7 % 40.5	人 6 % 33.2	人 3 % 14.4	人 2 % 11.3
全国	人 278 % 55.8	人 110 % 27.3	人 29 % 5.3	人 47 % 10.9

第15回 (大正13年 5月10日)

当	砂田重政	革新倶楽部	5,776
//	森田金蔵	実業同志会	4,762
//	折原巳一郎	政友本党	3,787
落	野田文一郎	憲政会	3,694
//	藤原米造	中立	1,759
//	草鹿甲子太郎	政友会	1,374

同上党派別当選者数(上)と得票率(下)

区分	憲政会	本友党	政友会	革新倶楽部	その他
神戸市	人 1 % 17.3	17.7	6.4	27.1	30.6
兵庫県	人 5 % 27.5	30.1	4.5	12.8	24.9
全国	人 152 % 29.4	111	22.2	6.2	16.8

第16回 (昭和3年 2月20日)

当	野田文一郎	民政党	31,076
//	砂田重政	政友会	14,346
//	藤原米造	爱国自由党	12,236
//	河上丈太郎	日本労農党	7,823
//	中井一夫	政友会	7,477
落	中亥歳男	民政党	4,790
//	浜野徹太郎	民政党	4,357
//	森田金蔵	実業同志会	4,158
//	勝田銀次郎	中立	3,703
//	西田富三郎	革新党	3,692
//	山本平三郎	民政党	2,982
//	西見芳宏	民政党	2,812
//	抽久保虎市	中立	1,314
//	堤良明	社会民衆党	791
//	高田末吉	中立	510
//	丹治剛太郎	中立	169

同上党派別当選者数(上)と得票率(下)

区分	政友会	民政党	無政産党	実同志業会	革新党	その他
神戸市	人 2 % 21.3	1 45.0	1 8.4	— 4.1	— 3.6	1 17.5
兵庫県	人 8 % 29.6	7 43.3	1 6.9	— 2.1	1 3.9	2 14.2
全国	人 217 % 42.9	216 43.1	8 4.7	4 1.7	3 0.8	18 6.6

資料：日本国政調査会編『衆議院名鑑』



---

新修 神戸市史 歴史編Ⅳ 近代・現代

平成6年1月20日発行

編 集 新修神戸市史編集委員会

発 行 神 戸 市

印刷・製本 河北印刷株式会社

---